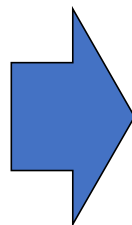
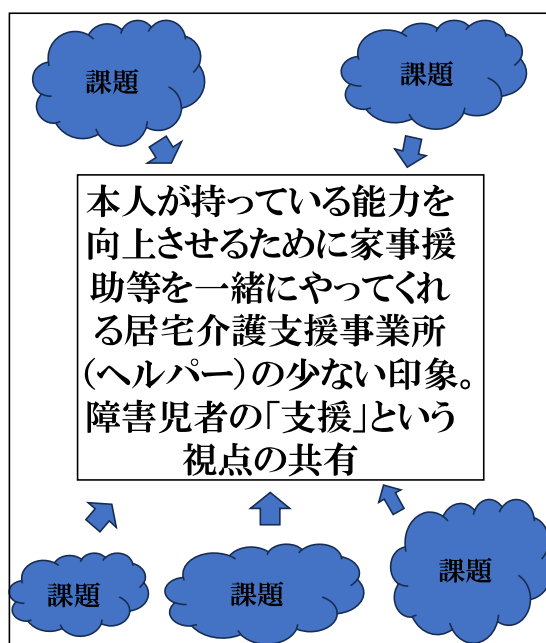


家事援助ワーキング

自立に向けた家事援助サービスの展開

令和5年度 川崎市多摩区自立支援協議会 ワーキング報告

ワーキング発足の経緯



・ヘルパーが障害者の特性を理解し、利用者の自立に向けた障害福祉サービスの展開ができるようになる

・現場のヘルパーの現状を理解するために居宅介護事業所に訪問し、サービス管理責任者等に聞き取り、状況を確認する

・利用者の自立に向けた障害福祉サービスを事業所等と一緒に考えていく

これまでの活動内容

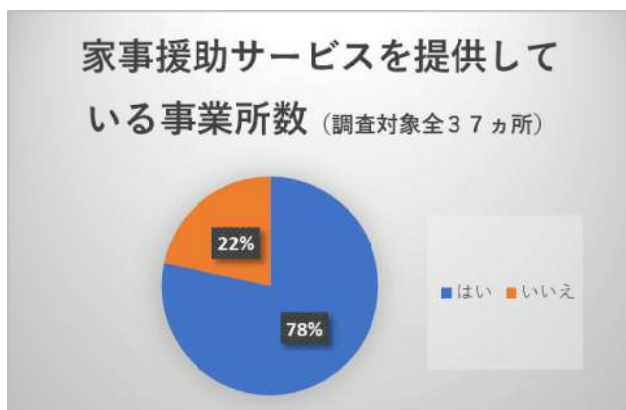
・多摩区内の居宅介護事業所の抽出・選定

・選定した居宅介護事業所へ電話等で聞き取り調査(質問内容は3つ)

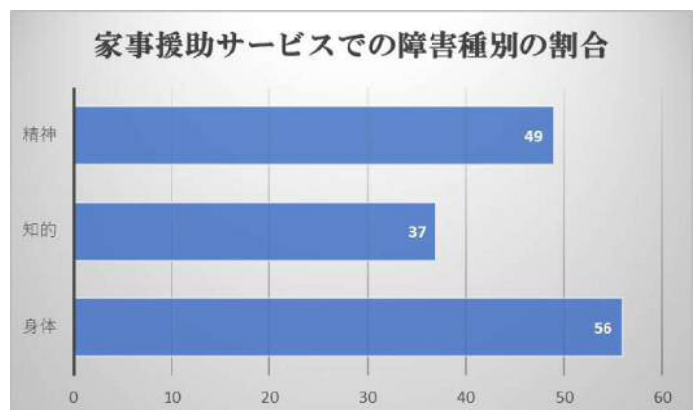
- ①現在、障害をお持ちの利用者さんに対し、家事援助のサービスを提供されていますか？どのような理由で提供していないのか？
- ②障害をお持ちの方で、家事援助サービスを利用されている方は、何名くらいいらっしゃいますか？知的、身体、精神それぞれ何名くらいいますか？
- ③障害をお持ちの方への家事援助サービスで、どんなことに困っていますか？

聞き取り調査の集計結果

①

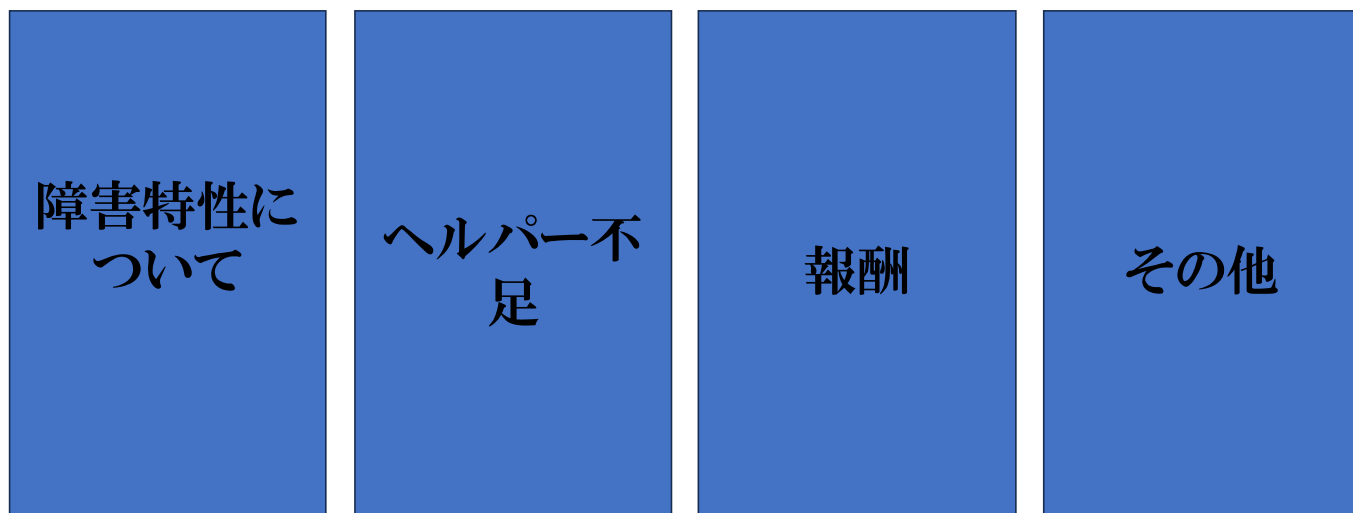


②



聞き取り調査の集計結果

③家事支援サービスでの困りごと



障害特性について

- 当日キャンセル、不在
- 特定のヘルパーでしか対応できない
- サービス内容に不満で連絡がくる
- 事業所を変える
- 精神の方で攻撃性がありこだわりがある
- 家政婦のように扱われる
- 保険内でのサービスを理解してもらえない
- ルールを理解・守ってもらえない
- 意思疎通が難しい
- たばこを室内で吸うので困る
- サービス内容を一緒に行う時協力を得られない
- 次の週に訪問すると更に部屋の状況が酷くなっている
- 女性ヘルパー訪問時に上半身裸で過ごす男性利用者
- 自分でできるので本当に支援が必要なのか疑問
- 精神の方動けない、休んでいること多く、自立支援がほど遠い

ヘルパー不足

- 担い手のヘルパーが不足している
- ヘルパーの育成方法
- ヘルパーの7割が高齢者のサービスを希望していえて、障害者のサービスを希望しない

報酬について

- 家事援助の報酬が低い
- 家事援助のみでのサービスを受けていない

その他

- 介護保険への移行時に同様のサービスが提供しづらい
- 複数の事業所は入っている場合、業務連携が難しい

今後の活動の流れ

利用者の自立に向けた障害福祉サービスの展開がより前進していけるために、アンケート内容から見えてくることを掘り下げ、追加の調査や聞き取りを実施していくことで、具体的成果を出すために必要なこと、方策や取り組みについて考察していきます